

3月定例会 提出議案の主な内容

平成23年3月定例会は、2月18日に開会され、諮問1件、議案30件、発議案1件、請願1件が提出され審議されました。

平成23年度市政運営方針

平成23年度 八つの街づくり

一の街めざします！ 便利で快適な街

❖ 八街駅北側地区土地区画整理事業を引き続き推進し、平成23年度完成を目指していきます。

❖ 八街バイパス事業は、平成23年4月13日から一部区間において供用が開始される予定でありますので、引き続き全線の早期完成に努力していきます。

❖ 市道四木28号線の道路改良事業を始め、文違、砂、西林地区の流末排水施設整備事業を実施

二の街めざします！ 安全で安心な街

❖ 市内の公共交通のあり方について協議会を設置し、ふれあいバスを含めた市内公共交通のあり方について検討していきたいと考えます。

❖ 八街警察署の設置に努力していきたいと考えます。

❖ カーブミラーをはじめとする交通安全施設の整備や防犯灯の設置について、引き続き計画的に設置していきたいと考えます。

❖ 地域安全パトロール事業を継続し、実施します。

❖ 消費者相談について、現在週4日実施している消費生活センターを、週5日開設に拡充し、対応していきたいと考えます。

三の街めざします！ 健康と思いやりにあふれる街

❖ 児童医療費助成事業の対象を、現在小学校6年生まで実施していま

すが、本年4月より、他の自治体に先駆け、中学校3年生まで拡大していきます。

❖ 子宮頸がんワクチンと、ヒブワクチン並びに小児肺炎球菌ワクチンの接種費用についても、本年4月から助成していききたいと思えます。

四の街めざします！ 豊かな自然と共生する街

❖ 公園や緑地の適正な管理に努めるとともに、

不法投棄監視対策事業による産業廃棄物等の不法投棄防止に引き続き努めていきます。

❖ ゴミ集積所に関する諸情報のデータベース化については、平成23年度において引き続き実施し、ゴミ集積所の適正な管理並びに円滑な収集業務を行っていききたいと考えます。

五の街めざします！ 心の豊かさを感じる街

❖ 朝陽小学校校舎改築に伴う屋内運動場の耐久性調査を実施します。

❖ 保育園の待機児童解消策

として、現在の保育園に臨時保育士3名を増員し、受け入れ数を増やしていきます。また、障がい児が健常児と保育園で楽しく共同生活が送れるよう、加配臨時保育士を増員します。

❖ 昨年各小学校に配置した学力向上推進員を継続して実施します。

六の街めざします！ 活気に満ちあふれる街

❖ 北総中央用水土地改良事業を引き続き推進するとともに環境保全型土づくり対策事業の普及拡大に努めていきます。

❖ 各地で催される食の祭典等に出席し、八街産野菜や落花生のピールを行います。

❖ 農業後継者の確保育成のため、新規就農者や経営発展を目指す農業者に対し、必要な農業用機械や施設の導入等に対して支援を図っていきます。

七の街めざします！ 市民とともにつくる街

❖ 地区コミュニティ事業の支援をはじめ産業

まつりやふれあい夏まつりの内容を充実させ、市民と行政の協働を推進していきます。

八の街めざします！ 市民サービスの充実した街

❖ 広報やちまたを毎月2回発行し、情報の迅速化を図っていきます。

❖ 行財政改革には積極的に取り組む、健全財政を維持していきます。

❖ 市役所職員数の適正化について、単に削減のみではなく、適材適所の視点や内部調整による重点配置など、全体のバランスに十分配慮しながら、市民サービスの向上を図っていきます。



条例

◆議案第5号

八街市一般職の職員の管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般職の職員の管理職手当について、平成23年度においても20パーセントの削減を継続するものです。

◆議案第7号

八街市公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

現状の規定では、使用者の都合により使用を取り消した場合、一旦納付された使用料は還付できませんが、使用を取り消すやむを得ない事情がある場合には、使用料の全部又は一部を還付することができるように改正するものです。

◆議案第9号

八街市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

暫定的に引き上げていた出産育児一時金の支給額を、国において恒久化することに決定したことから、本市においても同様とするため改正するものです。

一般会計予算 187億4千万円が可決！

◆平成23年度会計別予算規模◆

区 分	平成23年度 当初予算額①	平成22年度 当初予算額②	増減額 ①-②
一般会計(A)	187億4000万円	178億2000万円	9億2000万円
特別会計(B)	151億5787万3千円	139億996万6千円	12億4790万7千円
国民健康保険	80億7628万5千円	74億4698万5千円	6億2930万円
老人保健	0円	146万7千円	△146万7千円
後期高齢者医療	3億3770万7千円	3億9372万円	△5601万3千円
介護保険	31億5208万6千円	28億5856万3千円	2億9352万3千円
学校給食センター事業	7億81万9千円	7億2241万6千円	△2159万7千円
下水道事業	9億4829万4千円	7億4251万円	2億578万4千円
水道事業	19億4268万2千円	17億4430万5千円	1億9837万7千円
合計(A)+(B)	338億9787万3千円	317億2996万6千円	21億6790万7千円

平成23年度一般会計予算、討論！ (一部要約)

反対

来年度予算に求められるのは、厳しさを増している市民生活をいかに守るのかが問われています。新年度予算では、こどもの医療費無料化を中学3年生まで拡大させ、子宮頸がんなどワクチンの全額助成、用務員の業務委託から直接雇用にかえたことなどは高く評価するものです。しかし、その一方で市長の給与はわずか7%の削減であり、交際費は前年度と同様の220万円となっています。また、40億円を投入する大池第三雨水幹線事業は凍結し、減らされ続けてきた土木予算を増額して、市民が切実に求めている道路整備や市民の暮らしを守る施策を優先させるべきです。深刻な国保会計、介護保険への対策は切実で、一般会計からの繰り出しで国保会計・介護制度を守るべきです。八街市の経済の中心となる商工・農業予算の当初予算構成比は、わずか2.3%です。大幅に落ち込んでいる予算を増額すべきです。民生費では保育ママ制度の導入や公共施設を活用した保育園の分園制度の導入で待機児童ゼロをめざす取り組みを求め、教育費では、就学援助制度の拡充・改善が必要です。

市民に直接かかわる自治体として、市民の生活実態を直視し、市民が安心して暮らせる市政実現に総力をあげて取り組むことを求め反対討論とします。

討論

賛成

本市の財政状況は一昨年の政権交代後も苦しい状況は変わらない中であっても、一般会計5.2%、特別会計9.0%、合計6.8%の伸び率で予算編成をして頂きました。新年度の歳入面では、地方財政計画に基づく地方交付税予算について過大見積りに注意した予算計上をしているほか、各種基金からの繰り入れにより、財源不足に対応しています。歳出面では、全般にわたる経費の節減合理化や既存の制度・施策の見直しに努めた上で、生み出した財源を重点的・効果的に配分しております。具体的には、一般職及び特別職の人員費の削減、地域安全パトロール事業の実施、広報やちまたの月2回の発行、児童医療費助成事業の対象を中学3年生まで拡大、朝陽小学校屋内運動場の耐力度調査費の計上、学力向上推進員8名の継続、八街の歴史を知ってもらうべき「図解 八街の歴史」の発刊、八街駅北側地区土地区画整理事業と道路整備事業の推進、公共下水道雨水整備事業の実施設計、上水道老朽管更新事業の実施など、市民のニーズに応えるべく各種施策が多く見られます。

北村市長の強力な指導力のもと、いまだ不景気な経済状況下で抱える課題解決に鋭意努力して頂くことを含め、今後の手腕の発揮に期待して賛成するものです。

◆議案第15号
平成22年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について
既定の予算に2億3千980万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を84億3千657万2千円とするものです。歳入については、国庫・県支出金2億2千724万8千円を増額するのが主なものです。歳出については、一般被保険者療養給付費負担金1億6千22万9千円を増額するのが主なものです。

◆議案第14号
平成22年度八街市一般会計補正予算について
既定の予算に1億8千867万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を180億9千641万9千円とするものです。
◎歳出の主なもの
・子ども手当支給費
△1億9千698万6千円
・地域活性化・きめ細かな交付金活用事業
6千96万円
・市道210号線道路整備事業他舗装修繕工事
4千790万7千円

補正予算